

第5学年2組 国語科学習指導案

令和5年11月27日（月）5校時

児童数

授業者

- 1 単元名・教材名 表現しよう、私が感じた物語の魅力
「雪わたり」 宮沢 賢治 文

2 児童の実態と本単元の意図

(1) 児童の実態

児童は5年生になってから2つの教材で文学的な文章の学習を行った。4月「いつか、大切なところ」では、工夫された表現をもとに登場人物の心情を想像して読んだり、根拠を示しながら、心情曲線に表したりした。心情の移り変わりの大体を捉えられた児童は多いと感じた。しかし、「むねにすきま風が入ってきたような」「ぬれた服を着たように体が重かった」等の描写では、初発の感想で疑問に感じた児童が多く、学習を通して最後まで理解できない児童もいた。10月「大造じいさんとがん」では、リーフレットにまとめながら美しい情景描写を味わった。行動描写以外の「秋の日が美しかった」「あかつきの光」等から心情を読み取れる児童が増えた。

授業中に自らの考えを挙げて発表する児童は限られているが、グループ活動では活発に話し合う姿が見られる。他教科でも、友達と考えを共有することで主体的になったり自信をもったりする姿があり、話し合うことを学習内容の習得に生かしている児童が多い。

(2) 単元、教材について

本単元は、読むことと、物語の魅力を紹介する活動との2つの活動からなる。リズムのある語り口や比喻などの表現の特徴を探り、物語を具体的に想像しながら図工と関連させて作品をつくっていく。

「雪わたり」は、美しい雪の野原を背景に、人間の子供と子ギツネの心の交流を描いた作品である。自然の美しい情景が比喻表現を使って描かれ、リズムカルな文体が楽しい物語である。擬音語や擬態語・言葉の響きの楽しさ、七五調で書かれた歌や足踏みの表現などからイメージを広げて味わうことができる。

(3) 指導について

本単元は、学習指導要領C「読むこと」のエ「人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること」カ「文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること」を重点的に指導するものである。単元を通して、表現の工夫に気付き、物語を具体的に想像する力を身に付けるようにする。そのための言語活動として、「表現しよう、私が感じた物語の魅力」を設定した。

単元が始まる前に宮沢賢治作品を準備し、作者への興味や作品に感じられる言葉のおもしろさに関心がもてるようにする。教師が書いた推薦文を掲示し、児童が手に取りやすいようにするとともに、学習で取り組むことのイメージがもてるようにする。

初発の感想では、座標軸に印をつけてから感想を書き、単元を通しての変容を感じられるようにする。座標軸の言葉は、単元の評価規準の「知識・技能」「思考・判断・表現」をもとに考え、指導のねらいと関連させる。本単元の言語活動として、図工「光と場所のハーモニー」と関連させた作品づく

りを設定した。光と光を重ねたり材料に光を通したりして様々な空間をつくる題材は、表現の工夫や想像したことをより実感するのに適していると考えた。単元を進めていくうえで、教師がつくったモデル作品を示し、ゴールを児童に伝える。どのような学習が必要なのか、教師のねらいもあるが児童の考えを取り入れながら単元の流れを考えていく。20ページ以上もある物語なので、全ての叙述を細かくみていくのではなく、読み取りの視点を絞って読み進めていく。

また、次の単元の『図書すいせん会』をしようへの学習を取り入れ、自分が選んだ場面の推薦文を書く。一人一人が仕上げた作品は、クラスや学年間で見合い、感じ方や表現の違いの面白さに気付くことで、作品の魅力を感じとらせたい。

3 研究主題との関わり

本校の研究主題は、「互いに認め合う学級風土を土台とした対話にする力の育成」である。児童が生きるこれからの社会では、答えのない問いに対して、多様な立場のものが議論し、納得感を生み出していくことが求められる。その過程で、他者との対話（コミュニケーション）は必要不可欠であり、他者と好ましく対話する力は、人生を豊かなものにするための基盤になると考える。

そこで本校では、話すこと・聞くことを中心とした「対話する力」に重点を置いた学級風土づくりと授業改善を行うことで、児童が主体的に自分の考えを表現し、対話を通して考えを深めたり高めたりしていけるよう、研究に取り組んでいく。

互いに認め合う学級風土を土台とした対話する力の育成
～学級経営と話す・聞く活動の充実を通して～

【本単元で目指す児童像】

人物像や物語全体を具体的に想像したり表現の効果を考えたりする際に叙述と関連づけて考え、友達と対話をしながら考えを広げることのできる児童

【仮説 2】

発達段階に応じて、話す・聞く活動を工夫すれば、考えを高めたり深めたりするための対話する力が身に付くであろう。

【仮説 2 における本単元の手立て】

- ④ 話し合いを活発に行い、主体的に自分の考えを深めたり広げたりするために、課題を工夫する。
- ⑤ 話し合いの目的を共有するために、ワークシートや話型を工夫する。
- ⑥ 考えを整理して話し合いができるように思考ツールを活用する。
- ⑦ 考えの変容に気が付くように、初発の感想と本時の振り返りを比較する。

【仮説 1】

児童一人一人を大切にしたい学級経営を工夫すれば、互いに認め合い、自分の考えを主体的に表現しあえるであろう。

【仮説 1 における本単元の手立て】

- ① 児童一人一人が課題に対してじっくり取り組むことができるように、個人で考えたり友達と考えを伝え合ったりする時間を十分にとる。
- ② 活発な話し合いができるように、日々の様子を考慮して話し合いのグループ作りを行う。
- ③ 児童の発言に対して、教師が肯定的に受け答えたり言い換えをしたりして、発言者が安心できる環境をつくる。

4 単元の見目

- (1) 比喩などの表現の工夫に気付くことができる。 〈知識及び技能〉 (1)ク
- (2) 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。 〈思考力、判断力、表現力等〉 C(1)エ
- (3) 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。 〈思考力、判断力、表現力等〉 C(1)カ
- (4) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする。 〈学びに向かう力、人間性等〉

5 本単元における言語活動

詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動（関連：言語活動例イ）

6 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①比喩などの表現の工夫に気付いている。(1)ク	①「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。(C(1)エ) ②「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げたりしている。(C(1)エ)	①進んで描写に着目して人物像や全体像を具体的に想像したり考えを話し合ったりしようとしている。

7 指導と評価の計画（全12時間扱い）

時	主な学習活動	学習内容	指導上の留意点・評価
事前	<p>並行読書</p> <p>「銀河鉄道の夜」「風の又三郎」</p> <p>「注文の多い料理店」「ゼロ弾きのゴーシュ」</p>		<p>○推薦文を貼って本を紹介することで、興味をもって手に取れるようにする。</p>
1	<p>○「雪わたり」の朗読を聞いて、座標軸に印をつけ、感想を書く。</p> <div style="text-align: center;"> <p>表現の工夫に気付く</p> <p>難しい ← → 具体的に想像できる</p> <p>よくわからない</p> </div>	<p>○登場人物、物語の設定</p> <p>○感想の書き方</p> <p>どうしてここに印を付けたかというところからです。</p> <p>なぜ○○は、・・・したのでろうと思いました。</p> <p style="text-align: center;">人物や物語のことを 具体的に想像できる</p>	<p>○座標軸で印をつけたところから、単元を通してどのように変容できたか、児童が実感できるようにする。</p> <p>○縦軸には知識・技能、横軸軸には思考・判断・表現の単元の評価規準を示している。</p>
2	<p>○感想を共有し、単元の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>表現しよう、私が感じた物語の魅力</p> </div>	<p>○単元の見通し</p> <p>○音読の仕方</p>	<p>○教師のつくった作品を見て、単元のゴールに向けてどのような学習が必要か話し合い、見通しをもって取り組めるようにする。</p>
3	<p>○物語を出来事のまとまりごとに分け、物語の大体を捉える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>話し合う場面</p> <p>個→グ→全</p> <p>・時、場所、出来事が書かれた短冊を並び替える。</p> <p>全</p> <p>・場面の範囲を決める。</p> </div>	<p>○場面の分け方</p> <p>(時、場所、出来事)</p> <p><u>その1 (子ぎつねの紺三郎)</u></p> <p>① 雪の野原をわたる</p> <p>② 出会う</p> <p>③ 幻灯会の話をする</p> <p><u>その2</u></p> <p>(きつね小学校の幻灯会)</p> <p>④ 幻灯会へ出かける</p> <p>⑤ 幻灯会が始まる</p> <p>⑥ 出し物を見る</p> <p>⑦ 雪の野原を帰る</p>	<p>○「光と場所のハーモニー」を作るためには、場面を分ける必要性があることに気付かせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>[思考・判断・表現①]</p> <p>課題を解決している様子・ノート等</p> <p>・場面の移り変わりや、主な出来事を捉えて分けているかを確認する。</p> </div>

4 5	<p>○表現の工夫に気付く。</p> <p>【場面①④⑤】</p> <p>話し合う場面 個→グ→全</p> <p>・情景描写を読み取り、<u>くらげチャートに書く。</u></p> <p>全</p> <p>・話し合ったことを共有する。</p>	<p>○情景描写の読み取り方 寒さを感じられる描写 美しい景色を感じる描写 二人から見える景色</p>	<p>○美しい描写の工夫を出すことで 「光と色のハーモニー」でどのように作るか、イメージが持てるようにする。</p> <p>○場面①で読み取ったことを生かして、場面④⑤でも同じような比喩表現を見つける。</p> <p>[知識・技能①] <u>課題を解決している様子・ノート等</u> ・比喩や効果的な言葉を見つけているかを確認する。</p>
<p>【図工】光と場所のハーモニー① グループごと場面①を作品にする。</p>			
6 本 時	<p>○人物像や物語を具体的に想像する。</p> <p>【場面②】</p> <p>話し合う場面 個→グ→全</p> <p>・根拠となる叙述を読み取り、<u>くらげチャートに書く。</u></p> <p>全</p> <p>・話し合ったことを共有する。</p>	<p>○根拠となる叙述の見つけ方 行動描写 情景描写</p> <p>○想像した気持ちの書き方 選んだ理由 友達の考えを 聞いて感じたこと</p>	<p>○出合いの場面の心情を想像することで、今後の気持ちの移り変わりを理解できるようにする。</p> <p>○思考ツールを活用し、根拠を明確にして話し合いができるようにする。</p> <p>[思考・判断・表現②] <u>課題を解決している様子・ノート等</u> ・叙述から具体的に想像しているかを確認する。</p>
7 8	<p>○表現の工夫を読み取り、おもしろさを音読で表現する。</p> <p>【場面③⑥】</p> <p>話し合う場面 個→グ</p> <p>・「キックキック・・・」を歌っている時の<u>心情曲線をつくる。</u></p> <p>・気持ちの変化や音読の工夫を考える。</p>	<p>○工夫の見つけ方 「キックキックトントン」の言葉の違い 感じ方の違い</p>	<p>○グループで動作をつけながら音読の仕方を工夫させ、表現のおもしろさを体感させる。</p> <p>○前後の叙述もヒントにしながらか気持ちを想像させる。</p> <p>[思考・判断・表現①] <u>課題を解決している様子・ノート等</u> ・言葉の違いに気付き、感じ方を共有して音読を工夫しているかを確認する。</p>
朝 学 習	<p>○「光と場所のハーモニー」で作品をつくる場面を決める。</p>		

【図工】光と場所のハーモニー②③ 一人ずつ、選んだ場面を作品にする。			
9 10	<p>○作品に合わせて音読や朗読をし、選んだ場面の魅力を表現する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>話し合う場面 ペ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場面と「音読の仕方」を照らし合わせてよいところやアドバイスを伝える。 </div>	<p>○音読の仕方 声の大きさや抑揚 速さ 間の取り方</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[思考・判断・表現②] 課題を解決している様子・ノート等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習内容を生かし、グループで意見を出し合いながら具体的に想像して作品を作ったり文章を書いたりしているかを確認する。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>[主体的に学習に取り組む態度①] 課題解決をしている様子・ノート等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いで出た意見を取り入れて表現の仕方を思考錯誤しているかを確認する。 </div>
11	<p>○選んだ場面の魅力を推薦文に書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>話し合う場面 ペ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場面と推薦文の書き方を照らし合わせてよいところやアドバイスを伝える。 </div>	<p>○推薦文の書き方 場面の特徴（リズムのある表現、美しい描写、話の展開のおもしろさ等） 場面から感じたことや想像したこと</p>	<p>○次時の発表の際に書いた推薦文を発表することを伝える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[思考・判断・表現②] 課題を解決している様子・ノート等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の作品を見て、感じ方の違いに気付いたり作品のよさを伝えたりしているかを確認する。 </div>
12	<p>○図工でつくった作品を見合い、魅力を話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>話し合う場面 グ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ場面同士で集まり、感じ方や表現の違いを伝える。 <p>全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1場面1人ずつ発表し、作品の魅力を話し合う。 </div>	<p>○作品を見る視点 感じ方や表現方法の違い 感じた魅力</p>	<p>○体育館を暗くして発表場所を設ける。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[思考・判断・表現②] 課題を解決している様子・ノート等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の作品を見て、感じ方の違いに気付いたり作品のよさを伝えたりしているかを確認する。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>[主体的に学習に取り組む態度①] 課題解決をしている様子・ノート等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達に伝わるよに発表したり、作品を見てよいところ伝えたりしているかを確認する。 </div>

8 本時の学習指導（本時6/12時）

(1) 目標

- 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。

〈思考力、判断力、表現力等〉C(1)エ

(2) 評価規準

- 「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。

【思考・判断・表現】

(3) 展開

学習活動	学習内容	○指導上の留意点（配慮・手立て）◎評価 ★話す・聞く活動の工夫	時間
1 前時の学習内容を振り返り、本時の課題を確認する。		○場面①をイメージしてつくった作品を映し出し、本時の学習場面が想起できるようにする。	0
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <input type="text"/> 会った時、四郎はどのような気持ちだったのだろうか。 </div>			
2 学習課題を解決する。		○□に何が入るのかを考えさせることで読む視点が明確になり、言葉に着目して具体的に想像できるようにする。 (①初めて②何度目かに) (手立て④)	
(1)音読をする。		○始めは、□に入る言葉を考えさせる。	5
(2)個人で解決する。	○根拠となる叙述の見つけ方 ・行動描写 ・情景描写	○課題を意識しながらP36～39まで音読する。	9
① 初めて ② 何度目か		○くらげチャートに根拠となる叙述のキーワードと、そこから想像した気持ちを書く。(手立て⑥)	
(3)グループで話し合う。		○同じ答え同士でグループになり、根拠となった叙述を確認する。	
〈期待される児童の反応〉 ① 初めて の場合 P37L4、「ぎょっとして」「かばって」のところになりました。会ったこともないきつねに会ったから、驚いてぎょっとしたし、怖くて妹のかん子を守ろうとしたのだと思います。			
(4)全体で共有する。		★教師が話し合いをまとめ、同じ叙述でも視点を変えると感じ方や想像したことが違うことに気付かせ、考えを広げられるようにする。 ○一方の答えに偏りがあった場合には、教師が用意しておいた叙述を提示し、考えるきっかけをつくる。	23

<p>(5)気持ちを想像して書く。</p>	<p>○想像した気持ちの書き方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選んだ理由 ・友達の考えを聞いて感じたこと 	<p>◎人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。 【思考・判断・表現】</p> <p>○もう一度くらげチャートを見返して、自分の考えを整理してから書かせる。</p>	33
<p>〈期待される児童の反応〉</p> <p>① 初めて</p> <p>四郎は、初めて会って不信感やこわい気持ちがあったから、少しぎよつとしたりかん子をかばったりしたのだと思います。友達の「初めてだから熱心に言っている」という意見を聞いて、確かに何度か会っていたらその時に言っていたのかもしれない、と考えました。</p> <p>「紺三郎さん」と名前を知っているから②にするという考えもあるけど、会っていたらこんなにこわがらないし、もしかしたらおだんごだって食べたかもしれないと思い始めました。</p>			
<p>3 本時の振り返りをする。</p>		<p>○初発の感想のグラフからどのように変容したか、確認する。(手立て⑦)</p>	42
<p>〈期待される児童の反応〉</p> <p>友達の考えを聞いたら、今までとは違う読み方に気がきました。見えていないことを想像すると、「雪わたり」がもっとおもしろくなりました。</p>			

(4)板書計画

